

令和3年度第1回鶴岡市男女共同参画推進懇談会 会議概要

- 日 時 令和4年2月22日（火）10時00分～11時40分
- 方 法 『Zoom』使用によるオンライン開催
- 出席委員 伊藤真知子会長、太田千香子委員、石塚正子委員、松浦尚宏委員
矢花由紀子委員、阿部至委員、松田政之委員、加藤静香委員
梅津眞弓委員、岸井綾子委員、松本健一委員
- 欠席委員 五十嵐良二委員、吉住和子委員、遠藤綾委員
- 傍聴者人数 1名

1 開会

2 挨拶(伊藤真知子会長)

3 報告(資料説明：企画部政策企画課)

- (1) 鶴岡市男女共同参画計画(H23～R2)の評価検証について
- (2) 令和3年度の主な取組について

以下、委員発言の要旨

(1) 鶴岡市男女共同参画計画(H23～R2)の評価検証について

- ・男性の育児休暇取得については、今後も継続して取り組む必要がある。育児休業時の不安感の解消が取得意欲向上につながるものと考ええる。
- ・保育園等への入所については、保護者の立場に立った対応をお願いしたい。希望が叶うことで働きやすい環境の実現につながる。

(2) 令和3年度の主な取組について

○コロナウイルスが働く女性へ及ぼす影響について

- ・非正規で働く女性たちの失業率が表に出て来ない状態を「沈黙の雇用危機」という。本当に困っている女性の声が届かない状態は看過できない。
- ・人手不足の一方で求職者の多くがコロナ禍を踏まえ様子見をしていると感じる。
- ・コロナ禍による休校対応では母親が仕事を休むケースが多く、母親たちが職場で居場所をなくし仕事を辞めざるを得ない現象が実際に起こっている。
- ・従業員の不平等感を解消するため、全員が必ず休暇を取得する等の取組を行っている事業所もある。

○男性の育児休暇取得促進について

- ・市役所内では男性職員の育児休業取得が進んでいるようだが、市役所だから出来るという面もある。
- ・市役所内の取組に留まらず、市内事業所での取得率や優良事例の紹介など併せて行うとよい。

○自主防災活動への女性の参加促進について

- ・避難所の設営に関しては女性ならではの問題も多くあると思われる。防災活動の中に女性の視点を取り入れられることは重要である。
- ・各避難所に女性のリーダーを配置するなど女性の視点を取り入れる検討が必要である。